

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和元年 8月26日号

鳥栖市立麓小学校

校長 西川 哲也

TEL 0942-83-2013

<http://cms.saga-ed.jp/hp/fumoto-e/>



さあ！2学期が始まりました！



新学期を迎え、子供たちの元気な声が、また校内に響くようになりました。

どの子も安全に夏休みを過ごせたのも、地域の皆さんの見守りや保護者の皆さんのご支援があったからだ感謝しております。

さて2学期は、運動会や修学旅行、麓ふれあい祭りなど、多くの行事が予定されています。こういった様々な行事を通して、子供たちが更に大きく成長することを期待しています。早速9/11(水)からは、運動会に向けての練習が本格的にスタートします。まだまだ暑い時期での練習ということで、子供たちが体調を崩さないような配慮も必要だと考えています。ご家庭におかれましても、早寝早起きの規則正しい生活に心がけることや朝ご飯を必ず食べて登校すること等についてご指導くださいますようお願いいたします。

子供たちにこんな話をしました

始業式では、子供たちに周りの人に対する思いやりの気持ちを育んでほしいと願い「3つの幸せ」という話をしました。以下、簡単にご紹介します。

皆さんには、2学期もいろんな行事や勉強をとおして、毎日「幸せ」に過ごしてほしいと校長先生は思っています。「幸せ」には3種類あります。

1つ目は「**してもらう幸せ**」です。

例えば、赤ちゃんがご飯を食べさせてもらう、おむつを替えてもらう、抱っこしてもらいなど、お家の人や周りの人から何かをしてもらうと幸せな気持ちになります。これが「**してもらう幸せ**」です。皆さんにも経験がありますよね。

2つ目は「**できる幸せ**」です。

赤ちゃんが大きくなって、自分で歩けるようになる、自分で食べられるようになる、つまりいろんなことが自分でできるようになる幸せです。皆さんも自分で何かができるようになった時は、うれしいし、幸せを感じることができるはずですよ。

そして3つ目です。これが一番大事なことです。

それは「**してあげる幸せ**」です。

人が困っていたら助ける、友達が一人ぼっちでいたら声をかけて一緒に遊ぶなど、人に対して「何かをしてあげる幸せ」。これが一番の幸せなんです。

だれかにいろんなことをしてあげれば、その人は笑顔になります。喜んでくれます。その喜んでる姿を見ることで、人は幸せになるんです。

ぜひ2学期は、みんなが友達や周りの人に「何かをしてあげること」で「幸せ」を感じられる子に育ててほしいと思います。

そして、麓小学校を笑顔いっぱいの素晴らしい学校にしていきたいと思います。

運動会の起源とは・・・

ところで「運動会」とは、いったいつから始まったのでしょうか。実は、日本で最初に「運動会」という名前が付けられたのは、今の東京大学なんだそうです。今から約130年前のことです。その後、日本全国の学校で運動会を行うように、最初の文部大臣（森 有礼）が訓令を發したそうです。

しかし、当時のほとんどの学校には広い校庭がなかったため、神社やお寺の境内を借りて運動会を行っていました。そして、地域の方も一緒に参加してもらうために、「パン食い競争」や「大玉転がし」のような競技ができたそうです。

本校では1年生が「玉入れ」を行います。これはバスケットボールを変化させた競技なのだそうです。また「綱引き」は、秋にたくさんの作物等の収穫を祝うための地域行事が姿を変えたものだそうです。だから運動会は秋に行うところが多かったのです。運動会は、よく赤組と白組に分かれて戦いますが、これは昔、源氏と平氏の武士が敵と味方を区別するために、赤と白の旗を背中に付けたことがもとになっているそうです。日本の運動会のようなスポーツ大会は、外国ではとても珍しいのだそうです。

9月の主な行事

- 6日(金) 避難訓練(防犯)及び防犯教室
- 10日(火) いじめ・いのちを考える日
- 11日(水) 運動会練習開始
- 16日(月) 祝日「敬老の日」
- 23日(月) 祝日「秋分の日」
- 25日(水) 運動会総練習
- 29日(日) **秋の大運動会**
- 30日(月) 振替休日(9/29分)



※ 雨天時に伴う運動会の日程変更については、別プリントにてお知らせをいたします。

お菓子等のお土産は ご遠慮をお願いいたします

休日等にご家族で出かけられた際などに、ご好意でお子様のクラスの友達に向けてお菓子等のお土産をと考えていただくことがあるかと思えます。その温かいお気持ちはたいへん嬉しく思います。ところが、現在学校では、食物アレルギー等への対応、食の事故防止への取組がたいへん重要になってきております。本校でも子供たちの食の安全確保のために給食センターと連携をとりながら、食物アレルギーへの対応に日々取り組んでいるところです。

そのような理由から、誠に申し訳ありませんが、今後も子供たちの食の安全を最優先に考えていきたいと思っておりますので、お菓子等のお土産の持参についてはご遠慮くださいますようお願いいたします。

